

世界史

【第1問】ローマと地中海支配に関する次の文章を読むとともに地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

紀元前1000年頃、（ア）川のほとりに建設された都市国家がローマである。ローマは、はじめ先住民（イ）人の王に支配され、その文化に影響を受けていた。紀元前6世紀末に王を追放して（ウ）となった。(a)ローマの身分制度は、貴族と平民の間に軋轢を生み、次第に(b)身分闘争に繋がっていった。

中小農民の重装歩兵を中心とし、周辺の都市国家を征服することで、ローマは紀元前3世紀前半には、イタリア半島全土を支配した。その後、3回にわたって(c)カルタゴと衝突した(d)ポエニ戦争などを経て、紀元前2世紀半ばにはローマは地中海全体をほぼ制覇した。しかし、長期の出征で農地は荒廃し、中小農民が没落する一方で、富裕な騎士階層は(e)大土地所有制による大規模農業経営を実施し、貧富の差が広がると内乱の時代へと繋がっていった。

ローマ人は優れた文化的遺産も残した。実用的文化の象徴として、(f)土木・建築技術が発達し、ローマ帝国の急速な成長に伴う法律の整備や(g)文学の発展がみられた。

地図【I】



問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①インダス
- ②ユーフラテス
- ③ニジェール
- ④ティベル

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カッシート
- ②エトルリア
- ③ラテン
- ④シュメール

問3 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①民主政
- ②元首政
- ③共和政
- ④立憲君主政

問4 下線部(a)ローマの身分制度に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：貴族はプレブス、平民はパトリキと呼ばれ、身分の差があった。

Y：実質的な支配権を持っていたのは、貴族の会議である元老院である。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(b)身分闘争に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：紀元前5世紀には、元老院に拒否権を行使できる、平民出身の護民官が設置された。

Y：紀元前367年には、十二表法によって、コンスルのうち1人は平民から選ばれるようになった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問6 下線部(c)カルタゴの位置として最も適切なものを、地図【I】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問7 下線部(d)ポエニ戦争に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：カルタゴの将軍スキピオがイタリア半島に侵入し、ローマは一時危機におちいった。

Y：ローマの将軍ハンニバルの活躍により戦局を挽回し、ローマは勝利を収めた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問8 下線部(e)大土地所有制に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：この制度はラティフンディアと呼ばれる。

Y：大土地所有制では戦争捕虜である奴隷が多数使われた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問9 下線部(f)土木・建築技術に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も
適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：テオドシウス帝の凱旋門は、315年に作られ、高さは21m、幅26mである。

Y：古代ローマ最大の円形闘技場はコロッセウムと呼ばれ、剣闘士を戦わせるなどの見世
物が行われた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(g)文学の発展に関して、ローマ文学とその作者の組合せとして適当なものを、次
の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①ウェルギリウス『アエネイス』

②ホラティウス『恋の技法』

③オウィディウス『叙情詩集』

④カエサル『歴史』

【第2問】アジア交易世界の興隆に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

1368年、南京で皇帝の座についた（ア）が明朝を建てた。（ア）は、里内の徴税義務や治安維持に当たらせる村落行政制度の（イ）や、民衆教化のための教訓である（ウ）、明の兵制である（エ）を整備した。

明朝の対外関係は、朝貢貿易によって発展していった。明との重要な朝貢国には、琉球、(a)朝鮮、日本、ベトナムの（オ）などが挙げられる。その後、交易統制を続ける明に対する不満を背景に、(b)北虜南倭の動きが加速した。

16世紀の日本では、織田信長・豊臣秀吉が（カ）の利益を得つつ、日本の統一を進めていった。豊臣秀吉はさらに(c)領土の拡大を目指したが、明の援軍や朝鮮の（キ）が率いる水軍などの抵抗にあい、後に日本軍は撤退した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①建文帝
- ②永楽帝
- ③李成桂
- ④洪武帝

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①六諭
- ②衛所制
- ③里甲制
- ④海禁

問3 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①六諭
- ②衛所制
- ③里甲制
- ④海禁

問4 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①六論
- ②衛所制
- ③里甲制
- ④海禁

問5 下線部(a)朝鮮に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：科挙の整備や朱子学の導入など、明の制度にならった改革を実施した。

Y：文化事業として、金属活字による出版やハングルの制定などを行った。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問6 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①元朝
- ②殷王朝
- ③クシャーナ朝
- ④黎朝

問7 下線部(b)北虜南倭に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：チンギス＝カンは、しばしば長城を越えて侵入し、1550年には北京を包囲した。

Y：中国の東南沿岸では、倭寇の活動が激化した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（カ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①南蛮貿易
- ②中継貿易
- ③勘合貿易
- ④絹馬貿易

問9 下線部(c)領土の拡大を目指したに関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：朝鮮では、紅巾の乱と呼ばれる。

Y：日本では、靖難の役と呼ばれる。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 空欄（キ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①李鴻章
- ②李承晩
- ③李舜臣
- ④李登輝

【第3問】 フランス革命に関する次の文章を読むとともに地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

ルイ14世期以来、フランスは絶対王政の国であった。社会は、(a)身分集団や特権団体によって分断され、下の身分の者は、上の身分へ不満を抱いていた。

18世紀のフランスは、相次ぐ戦争の費用が財政破綻を招いたため、国王に登用された経済学者の（ア）や銀行家の（イ）らとともに、ルイ16世がさまざまな行財政改革を試みた。1789年には、課税強化のために、全国三部会が招集・開催されたことをきっかけに、第一・第二身分の特権を批判する世論が第三身分を中心に高まった。特権身分の一部と第三身分の議員は、自分たちこそが真の国民代表であるとして、全国三部会を離脱し、（ウ）を自称した。国王側が軍事力で（ウ）を弾圧しようとする、パリ民衆が、(b)フランス革命の発端となる事件を起こした。

農民の蜂起を受け、（ウ）は（エ）を決定し、ラ＝ファイエットらの起草による（オ）を発した。一方、有力貴族の多くは、周辺諸国へ亡命し、(c)国王一家も王妃の実家に亡命を試みるが失敗した。以降、フランス革命は周辺諸国との戦争の影響を受けるようになり、1793年には（カ）とも戦争が始まり、革命に反対する勢力を弾圧する（キ）が実施されていった。

地図【Ⅱ】



問1 下線部(a)身分集団や特権団体に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 21

X：貴族の第一身分と聖職者の第二身分が土地と公職をほぼ独占した。

Y：第三身分の内部でも、都市と農村の民衆は生活に苦しんだ一方で、ブルジョワは富を蓄え、格差が生まれていた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 22

①シェイエス

②ネッケル

③ジェファソン

④テュルゴ

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 23

①シェイエス

②ネッケル

③ジェファソン

④テュルゴ

問4 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 24

①国民議会

②模範議会

③立法議会

④国民公会

問5 下線部(b)フランス革命の発端となる事件に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

25

X：1789年7月14日に発生した。

Y：武器や弾薬を求め、絶対王政の象徴とされていたバスティーユ牢獄を襲撃した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問6 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 26

- ①大陸封鎖令
- ②共産党宣言
- ③人権宣言
- ④封建的特権の廃止

問7 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 27

- ①大陸封鎖令
- ②共産党宣言
- ③人権宣言
- ④封建的特権の廃止

問8 下線部(c)国王一家も王妃の実家に亡命を試みるが失敗したに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 28

X：国王一家が、王妃であるマリ＝アントワネットの実家であるプロイセンに亡命しようとした事件を指す。

Y：この事件は、ヴァレンヌ逃亡事件と呼ばれる。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問9 空欄（カ）に入る国として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問10 空欄（キ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①神権政治
- ②恐怖政治
- ③三頭政治
- ④反動政治

【第4問】石油危機に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

1971年、アメリカの（ア）大統領は、世界に衝撃を与える発表をし、(a)ドル＝ショックが起きた。1973年には、それまでの1ドル＝（イ）の固定相場制から変動相場制に変更されたことは、日本にとって通商環境の激変であった。

1973年に（ウ）が始まると、アラブ諸国や原油産出国は、イスラエルを支持する国に原油を販売しない措置を講じたり、原油価格を引き上げたりし、原油を国際戦略上の武器とする政策をとった。わずか2ヶ月で原油価格が4倍に高騰し、第1次石油危機が起こった。石油危機は一度にとどまらず、1979年には、(b)イラン＝イスラーム革命の影響で世界第2位の産油国であったイランでの原油生産が中断し、第2次石油危機に繋がった。これらの不安定な経済やエネルギー問題への対応のために、1975年以降、毎年、(c)先進国首脳会議が開かれることとなった。開発途上国では、低賃金によるコスト削減をうたい、外国企業を誘致し、工業製品を先進国に輸出する路線が拡大、(d)新興工業経済地域への動きが進んだ。

第1次石油危機後の日本は(e)合理化投資を行い、強い国際競争力を身につけていった。世界経済が低迷する中、1970～1980年の日本は(f)高い成長率を維持、輸出の急速な拡大は大幅な経済摩擦をもたらした。貿易赤字に苦しむアメリカは、1985年の（エ）でドル安を容認したことで経済摩擦は緩和したものの、円高不況が深刻化した。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ワシントン
- ②ニクソン
- ③ケネディ
- ④ジョンソン

問2 下線部(a)ドル＝ショックに関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：金とドルの交換を停止した。

Y：10%の輸入課徴金を導入した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①160円
- ②260円
- ③360円
- ④460円

問4 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①第1次中東戦争
- ②第2次中東戦争
- ③第3次中東戦争
- ④第4次中東戦争

問5 下線部(b)イラン＝イスラーム革命に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：シーア派の宗教指導者ホメイニのもとで、イラン＝イスラーム共和国が成立した。

Y：国王の専制と親米路線への反発からイラン＝イスラーム革命が起こった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問6 (c)先進国首脳会議に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：第1回首脳会議は、フランスのマルセイユで開催された。

Y：第1回首脳会議の参加国は、アメリカ、イギリス、フランス、西ドイツ、イタリア、日本の6カ国であった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問7 下線部(d)新興工業経済地域に含まれない国として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①韓国
- ②台湾
- ③香港
- ④ブラジル
- ⑤メキシコ
- ⑥コロンビア

問8 下線部(e)合理化投資に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：日本の生産方式と呼ばれる多品種少量生産方式が確立した。

Y：省資源・省エネルギーを目指した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問9 下線部(f)高い成長率に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：相対的に高い成長率を維持したことを、安定成長と呼ぶ。

Y：当時の日本の成長率は、年率10%以上であった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①プラザ合意
- ②オスロ合意
- ③ポツダム宣言
- ④モンロー宣言